

プレコンセプションケア推進フォーラム

プレコンセプションケア外来の3年間 ー実践から見えてきたものー

2026.8.22

千葉大学医学部附属病院 産科・婦人科 佐藤美香

千葉大学医学部附属病院 産科・婦人科

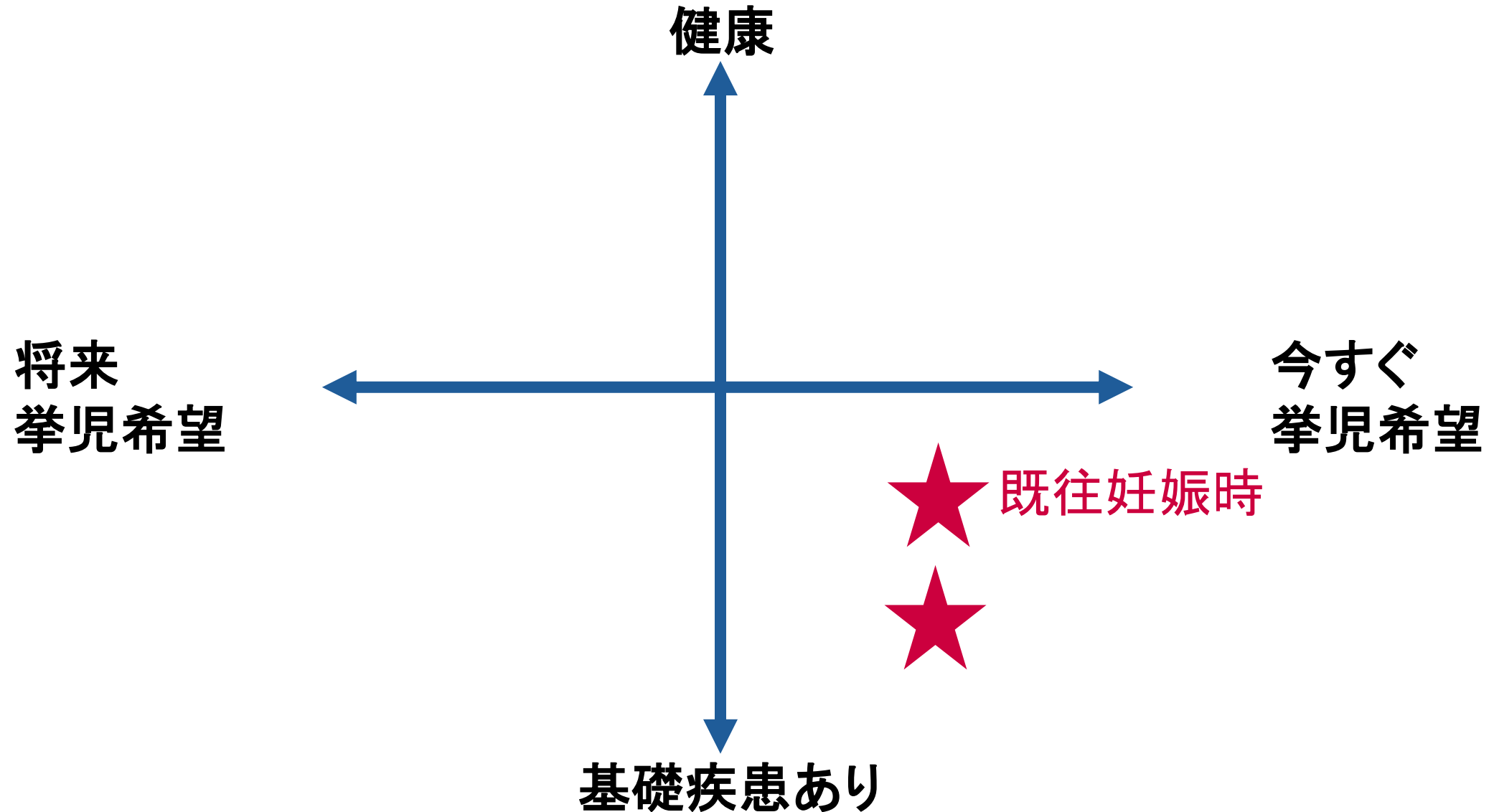
- ・年間分娩数 671 件(2025年度)
- ・総合周産期母子医療センター
- ・母体合併症・妊娠合併症、
胎児疾患を有する妊産婦の診療



医学部棟と桜

2023年1月、プレコンセプションケア外来開設

プレコンセプションケアの対象 -基礎疾患x挙児希望-



本日の内容

当院プレコンセプションケア外来における

① 立ち上げの経緯と周知の取り組み

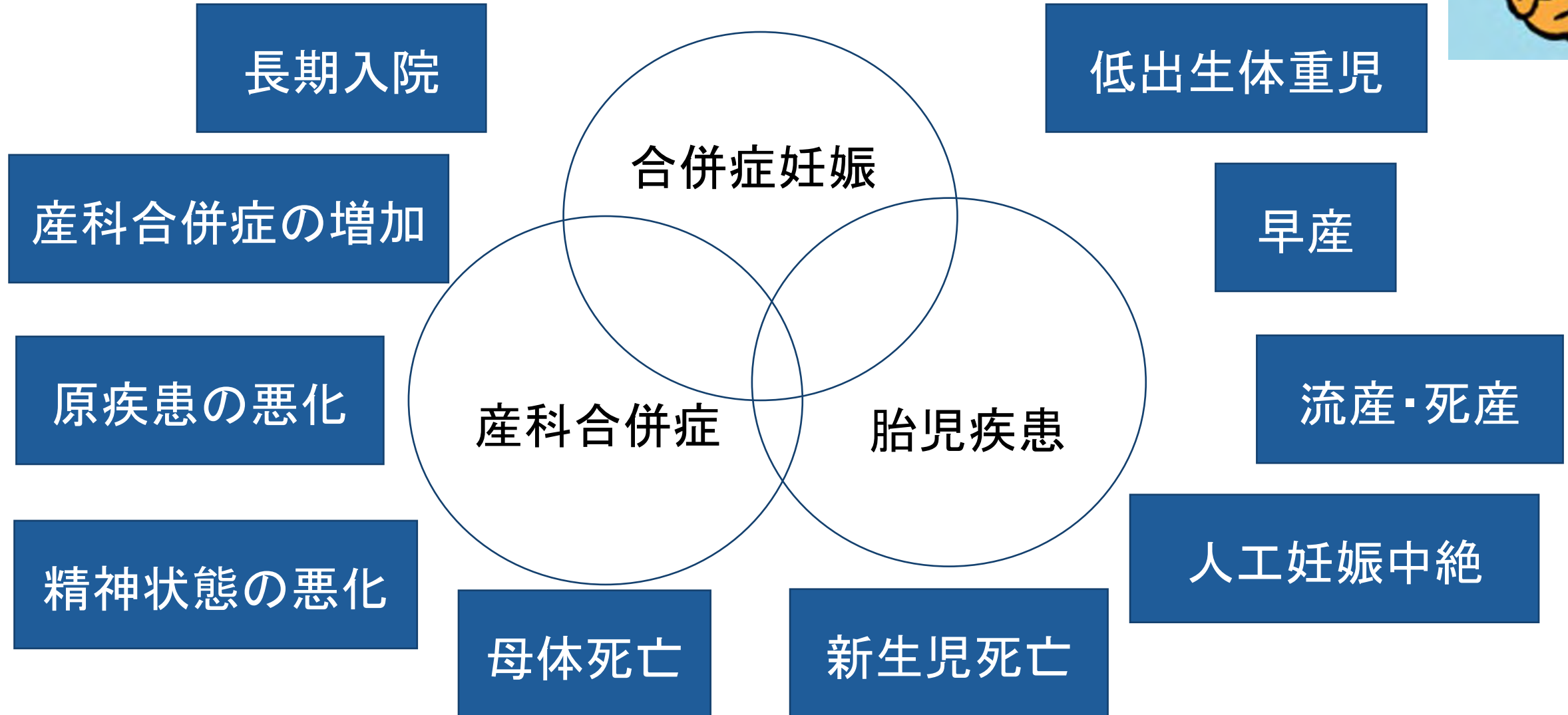
② 診療実績と運営上の課題

③ 心理・社会面でのサポートについて ーすべての人にとって重要なものー



ハイリスク妊娠の転帰

プレコンしていれば...



千葉大学病院におけるプレコンセプションケアの相談窓口

遺伝カウンセリング
外来

妊娠と薬相談外来

プレコンセプション
ケア外来

他診療科、クライアントにとってわかりやすい包括的な窓口ができた

広報活動：院内外への周知



糖尿病・代謝内科のカンファレンス

院内カンファレンス

糖尿病・代謝内科

アレルギー・膠原病内科

精神科

小児科

小児外科

初期臨床研修医

院外との勉強会

千葉県こども病院

リーフレット・専用HPを作成
プレスリリース→新聞掲載

プレコンセプションケア外来の概要

クライアント

現在挙児希望があり、

- ・疾患を有する方
- ・以前の妊娠経過に異常があった方

外来の目的

カウンセリングにより**クライアントと家族**が
妊娠に対するリスクを理解し
最善の準備をすることで、
より安全な妊娠・分娩・産後を迎えること

カウンセリング料金

自費 15,800円(1時間まで)



**原則的に
夫婦・カップルでの受診を推奨**

カウンセリング体制 医師8名、助産師4名 交代制

生活指導
支援体制相談

資料作成
疾患についてカウンセリング

アドバンス助産師

産科医師
(中堅)

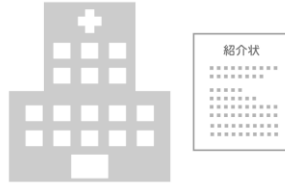
産科医師
(ベテラン)

アドバイス
サポート



クライアント

申し込みから受診準備の流れ



主治医

紹介状送付



産科医師

資料準備



産科医師・助産師

カンファレンス

クライアント

問診票提出

- ・他科の医師とディスカッション
- ・文献検索

- ・多職種の視点で資料の内容を検討

カウンセリング内容

- 妊娠前の準備
- 妊娠による疾患への影響
- 疾患による妊娠への与える影響
- 分娩・産後に与える影響
- 薬の影響
- 胎児に与える影響
- 分娩施設についての提案

クライアントごとに
オリジナルの資料

本日の内容

当院プレコンセプションケア外来における

① 立ち上げの経緯と周知の取り組み

② 診療実績と運営上の課題

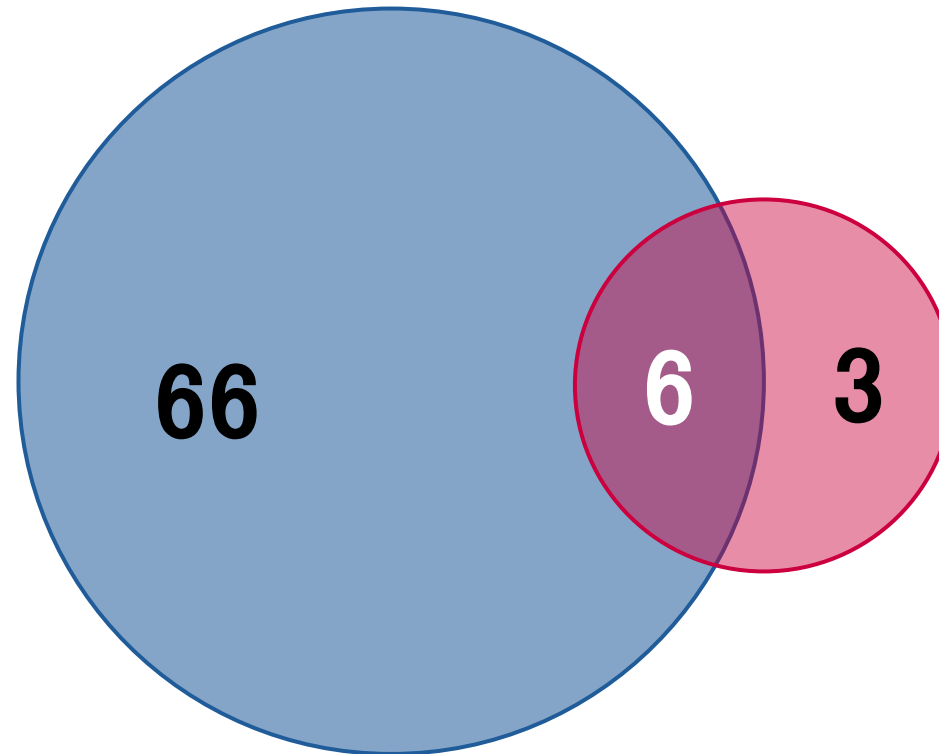
③ 心理・社会面でのサポート
ーすべての人にとって重要なものー

クライアント・相談内容の内訳（2023年1月～2026年1月）

① クライアント（75名）の内訳

合併疾患 72名

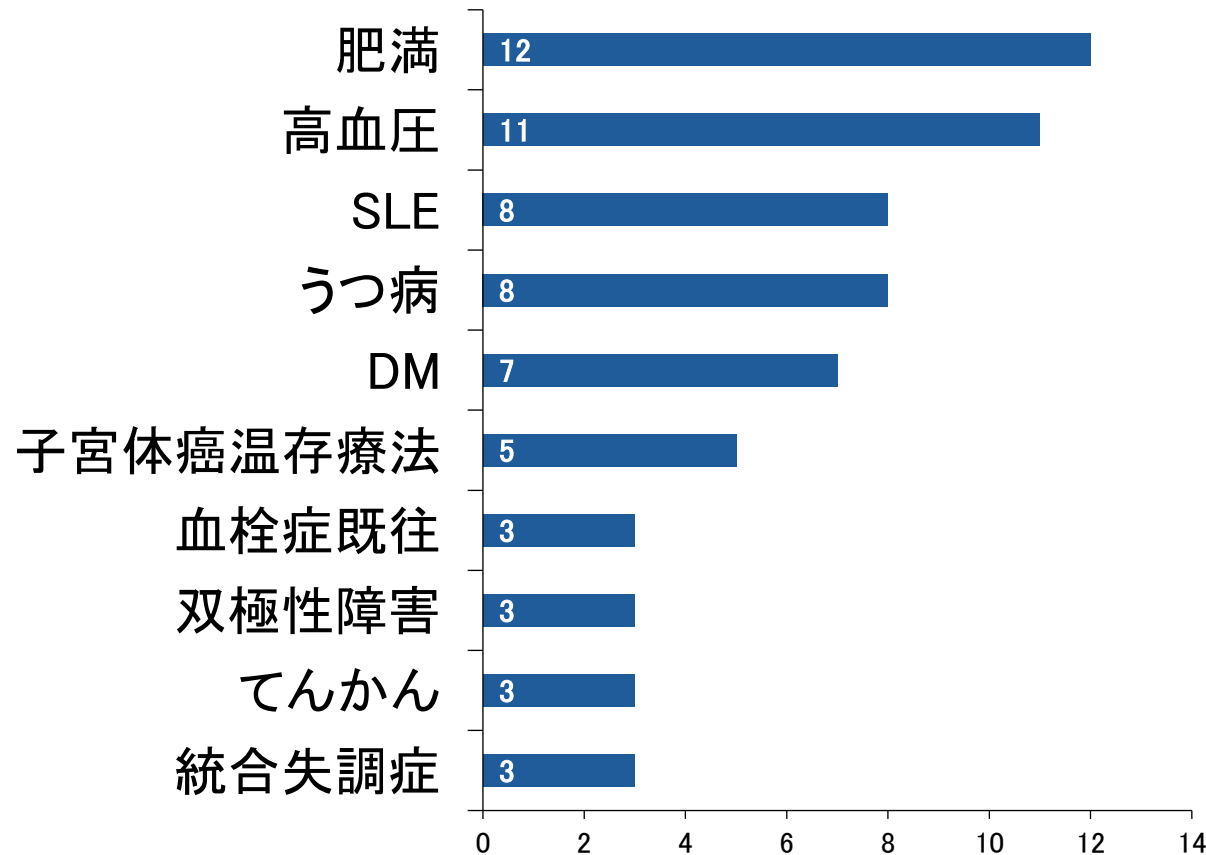
既往妊娠異常 9名



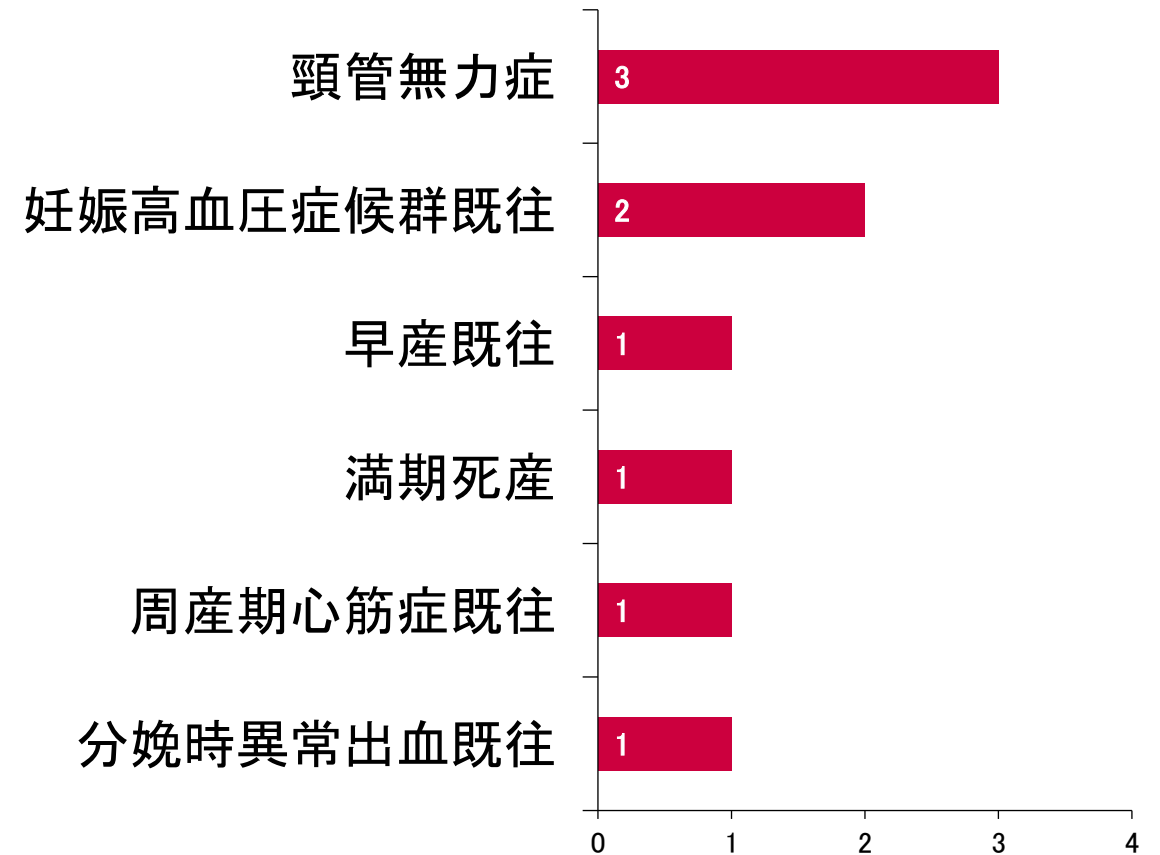
クライアント・相談内容の内訳（2023年1月～2026年1月）

② 相談内容（重複あり のべ160）の内訳

合併疾患

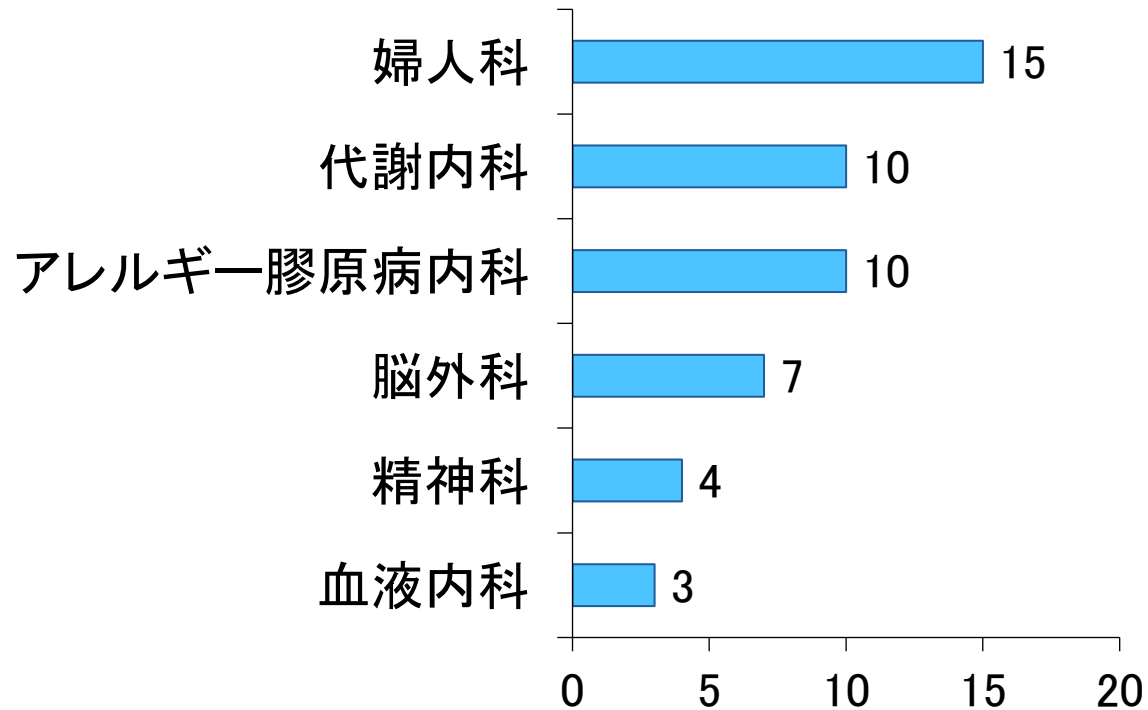


既往妊娠異常

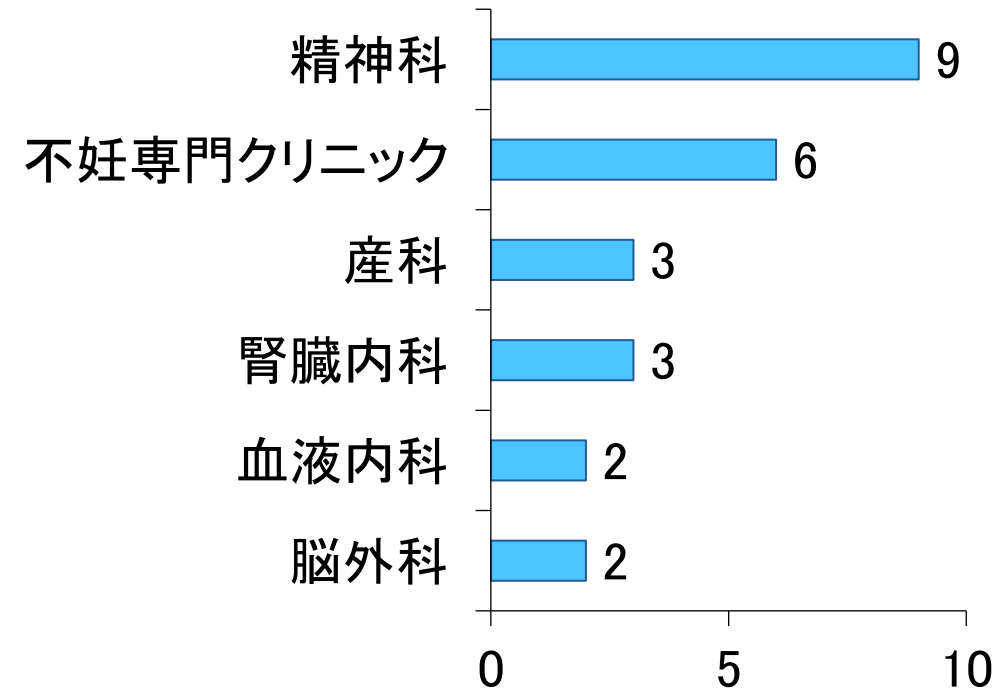


紹介元の内訳

院内（48件）

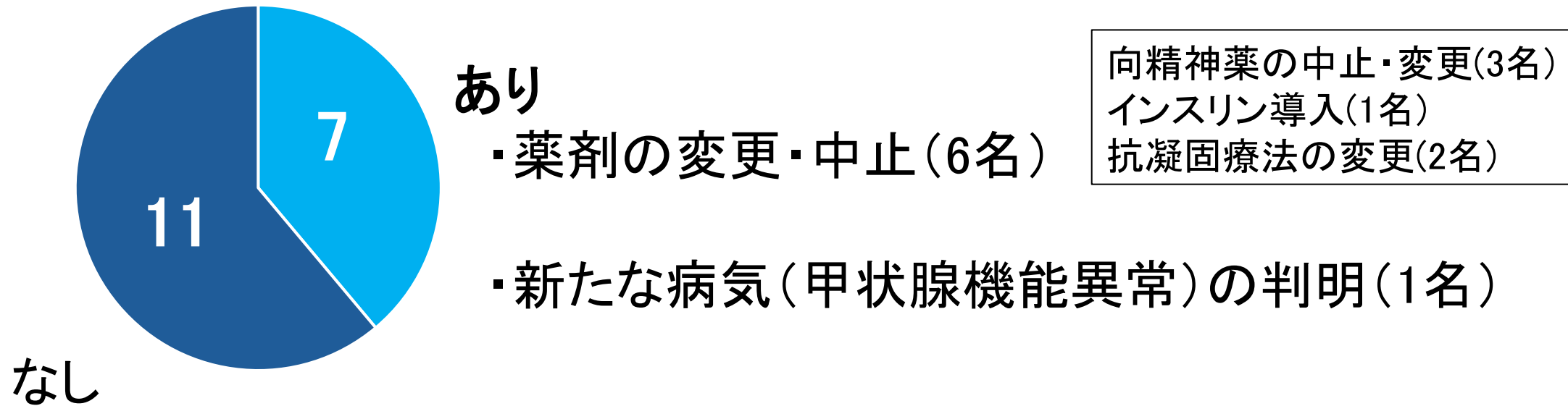


院外（42件）



当院で妊娠分娩管理を行った18症例の妊娠前の基礎疾患の管理

妊娠に向けて、基礎疾患の管理方針の変更があったか？



当院で妊娠分娩管理を行った20症例の転帰

カウンセリング2023年1月～2026年1月（出産13例、妊娠中7例）

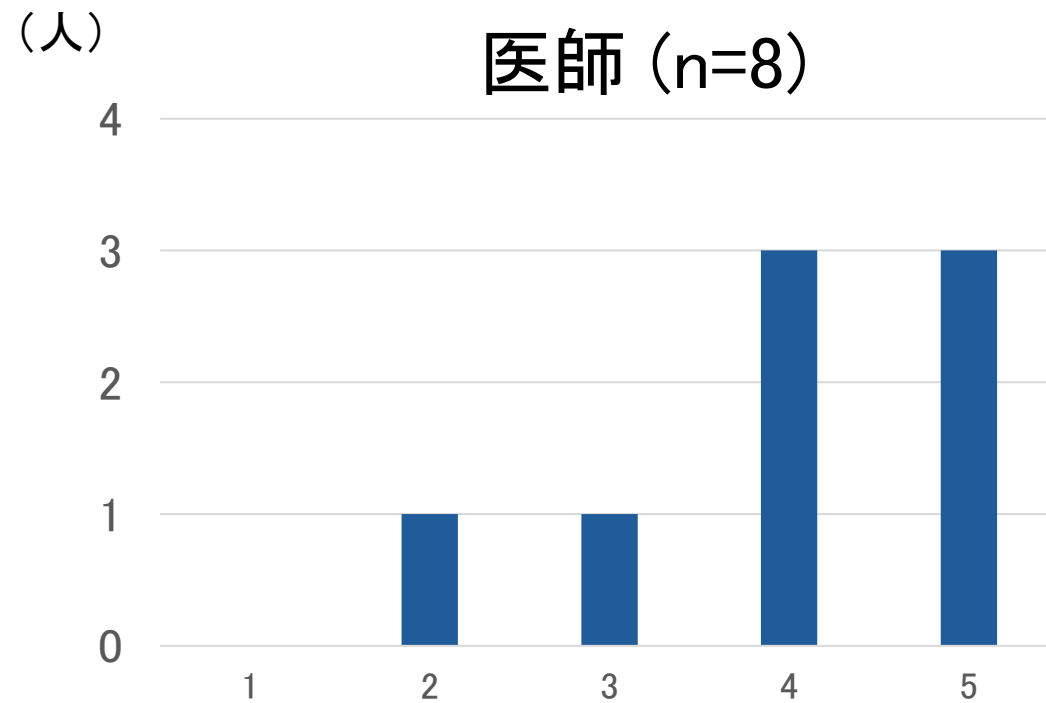
- ・分娩症例は全例、正期産、生児を得ていた
- ・妊娠合併症・基礎疾患の悪化はおよそ半数に認められた
- ・新生児転帰ではNICU入院が半数であった

当院で妊娠・分娩管理を行っていない症例、
妊娠を希望しなかった症例については今後検討が必要

運営課題

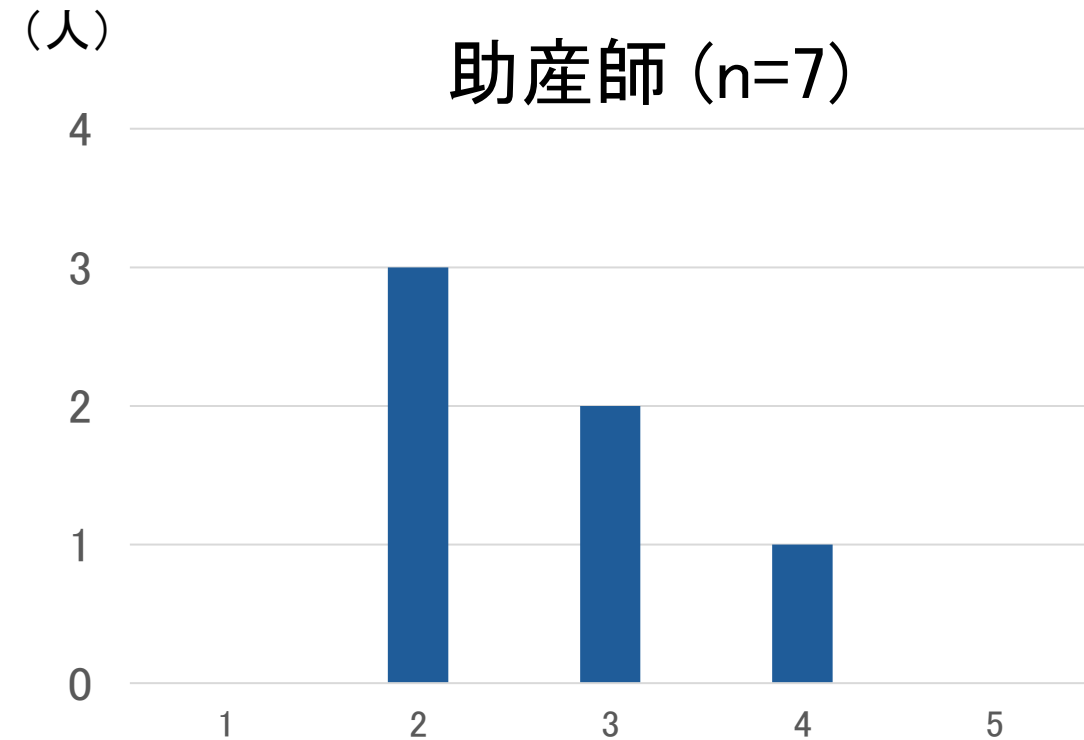
外来準備の負担感について職員アンケート

1:全く負担ではない— 5:非常に負担である



準備
所要時間

360分(30～600)



30分(20～30)

改善策

- ・資料の標準化(共通部分)

疾患の説明、妊娠と疾患について
家族や行政サポートの重要性について

- ・既存資料の活用

プレコンノート、医療従事者用マニュアル・疾患編リーフレット(*1)

- ・予約調整のデジタル化: 2026年6月導入



- ・症例によっては担当医師を2名から1名に→人員確保には限界がある

*1 国立成育医療研究センター HP

<https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/preconception/preconnote/preconception-care.html>

本日の内容

当院プレコンセプションケア外来における

- ① 立ち上げの経緯と周知の取り組み
- ② 診療実績と運営上の課題
- ③ **心理・社会面でのサポート**
—すべての人にとって重要なもの—

クライアントの感想

プレコンセプションケアを「**パートナーと一緒に**」と
勧めるのであれば、
パートナーはどうすればいいのか等のアドバイスをしていた
きたかった。



心理・社会面でのサポートの実際

STEP1 医師・助産師

1 妊娠中の急な管理入院・ 早産の可能性

- ・仕事の調整
- ・上のお子さんの
養育者の確保

2 産後の病状悪化・入院の 可能性

- ・複数人で育児を担当
する体制づくり
- ＊本人が育児できない
場合も想定

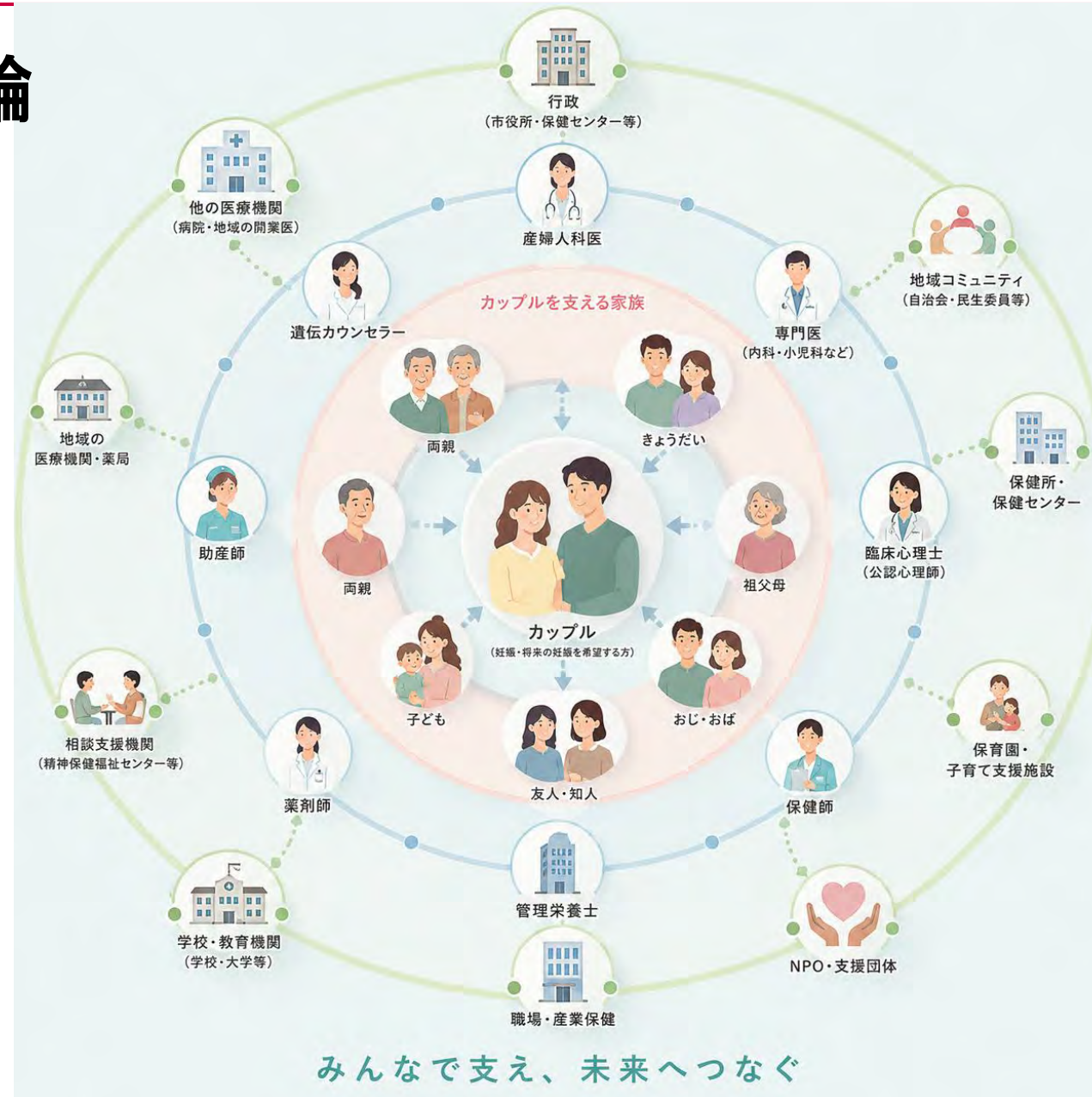


STEP2 助産師

- ・支援体制などを
個別に聴取
- ・具体的な相談先
を提示

妊娠・出産の先を見据えた準備の重要性を
夫婦に知ってもらい、夫婦が話し合う機会となる

カップルを支える輪



イメージ図 演者作(AI)

現在のカウンセリングで伝えていること

リスク

疾患コントロール

薬剤の調整

生活習慣の見直し

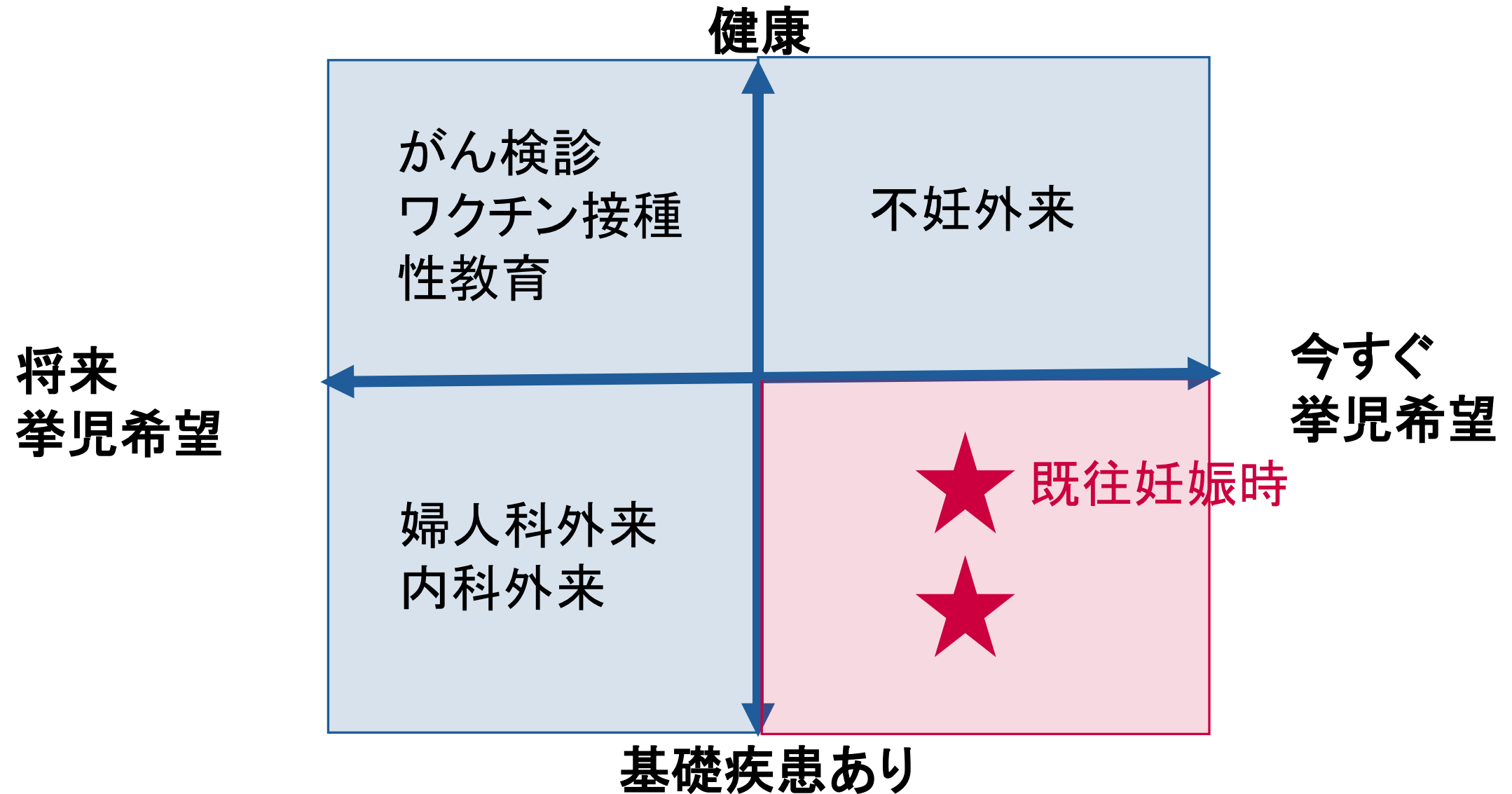
産後ケアなど公的サービス

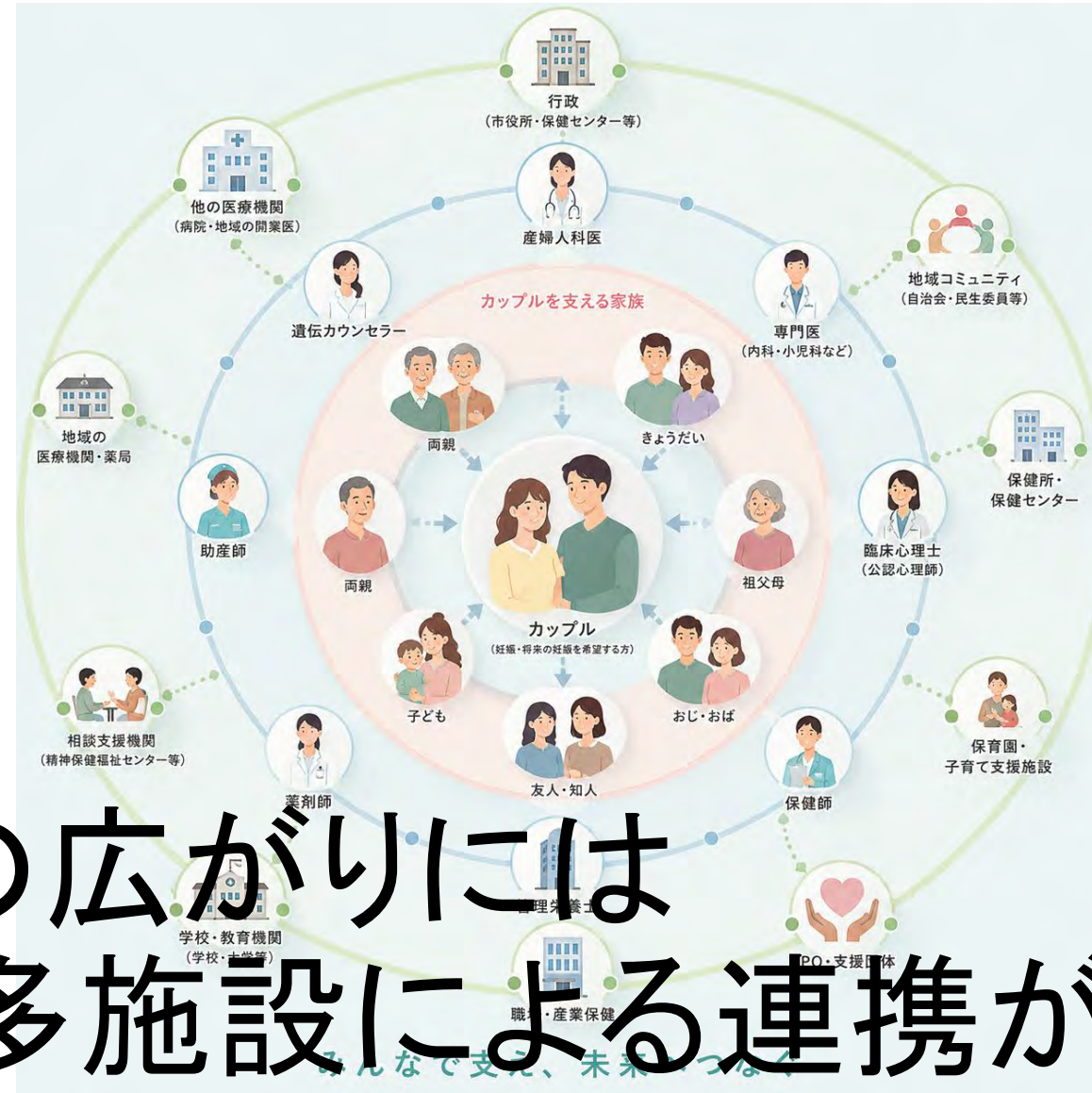
夫婦や周囲のサポーターとの
コミュニケーション

妊娠中、産後の“もしも”に、妊娠前から備える

持病がなくてもすべての人にとって必要なこと＝プレコンセプションケア

プレコンセプションケアの対象 -基礎疾患x挙児希望-





プレコンの広がりには
多職種、多施設による連携が不可欠

イメージ図 演者作(AI)